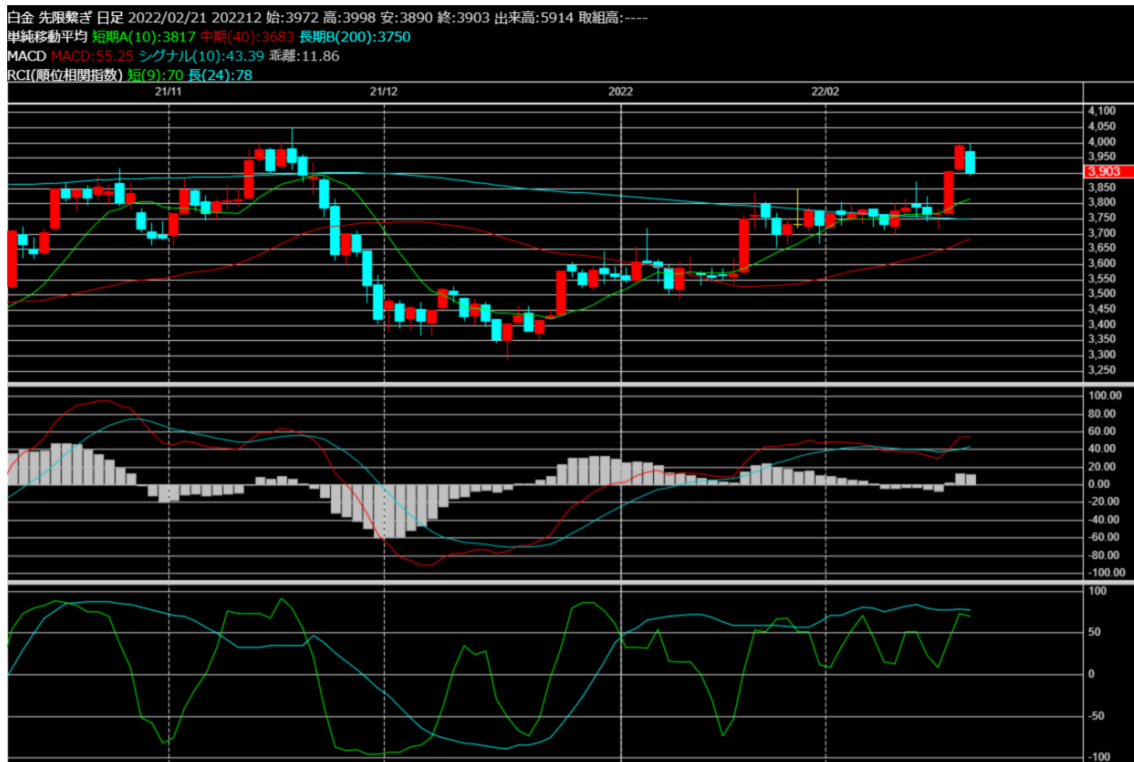


< 白金標準先物、新甫 2 月限 3850 円以下は買いの域・・・ >



(出所：オアシス)

バイデン大統領が 13 日に「ロシア軍が 16 日にウクライナに侵攻する可能性は高い」と言及し、15 日にロシア議会議長がウクライナ東部の親ロシア派が実行支配する 2 地域の独立を承認するようプーチン大統領に要請する案の採決を行い承認した事を機に地政学的なリスクの高まりを受け、出遅れ感が強かった白金標準先物は 3716 円から昨年 11 月以来の 4003 円まで上昇している。

特に白金標準先物は、12 月に中国恒大集団のデフォルトリスクを受け 3400 円～3500 円で底固めを行い、12 月後半から 1 月はオミクロン株の感染拡大で 3550 円～3650 円で推移し、2 月からは金融政策の出口戦略で 3700 円～3800 円のレンジで推移していた。そのため先週の 3800 円から 4000 円へのレンジ離脱の動きは、下値を切り上げている従来の値動きの延長と受け取る事ができ、過去の 100 円の下値切り上げのレンジが想定されるため今週以降は 3800 円を下回る可能性は低くなると予想される。

特に今週は、ウクライナ情勢で 24 日に米露の協議が予定され、同日新甫 2 月限が発会する事からも新甫 2 月限の 3850 円以下は買い場の提供と予想される。

< テクニカル >

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** の伸びが欠け、**シグナル** は切り上げている。また RCI は**短期**が**長期**を上回る事ができていない。特に日足は **10 日移動平均線**の 3817 円から乖離しており、目先調整安の動きが予想されるため注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 375,000 円(2022 年 2 月 21 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 34,540 円(2022 年 2 月 21 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>